

教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成27年 6月19日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	<input checked="" type="radio"/> ① 男性 <input type="radio"/> ② 女性
	住 所	岐阜県 竹鼻 <input checked="" type="radio"/> 町 <input type="radio"/> 村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 <input checked="" type="radio"/> ④ 50歳代 ⑤ 60歳代		
	情報の種類	① 意見 ② 要望 <input checked="" type="radio"/> ③ 情報提供 <input type="radio"/> ④ 質問		
	回答の希望	① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="radio"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。 伝統芸能の継承から育まれる地域教育のモデル			
<p>羽島市竹鼻町の五月祭りである「竹鼻まつり」その祭りには十三輻の山車(だし)が毎年巡航されます。(隔年半数巡航・特別な年には全輻巡航)その山車には必ずお囃子が乗っております。町内によっては小学生や中学生、高校生がお囃子に積極的に参加しているところもあります。(我が町内・・・大西町もそのひとつです。)</p> <p>それは、小さな頃から地域の伝統芸能を継承し、ふるさとに対する愛着を育むために伝統的に行われていることであり、祭事への参加で今の子供たちにとって非常に大切な世代間交流と、生まれ育った地元を、「ふるさと」とする思いを育む重要な役割を担っています。</p> <p>とりわけ祭事の当日までの数々のお囃子の練習では、大人から小学生まで一緒になって技術を習得することは勿論、子供たちの忍耐力と仲間との協調性、また年上が年下に技術指導するという継承、そして親以外の大人との関わりの中で習得する礼儀作法など、これらの事が貴重な青少年健全育成の機会となっています。</p> <p>また、その祭りには「山車曳き」という機会をもとに親子、また三世代で関わる事が出来て、家庭でも共通の話題がある事による家庭教育の一助にもなっております。</p> <p>学校で学ぶ教育は勿論のこと、それとは別に地域で学ぶことのできる教育も大切なのではないかと思っております。そのような意味では、この竹鼻まつりに関わる「お囃子」は地域の伝統継承のみならず、地域教育のひとつになっているのではないかと感じており、そのモデルケースであると思えます。このような「地域教育」が、どの県よりも充実する岐阜県であってほしいと同時に、このような教育こそ、いまの、我が国や岐阜県の子どもたち、青少年には一番大切な教育ではないかと思っておりますので情報提供いたします。</p>				